

塗料株式会社シリカ・ジャパン
 東京都千代田区内神田1丁目17-2 小堀ビル 4F
 TEL03-6905-7198 FAX03-6905-7198

フォック LC#185 クリアー工法、塗装仕様及び施工要領書

木材素地 (2 工程) + 素地処理

素地処理	バリ等はサンディングペーパー等を使用し研削して下さい。 油脂、付着物の除去。
	木材の切り口、節目はフォック #185 または木工パテを使用し処理して下さい。 フォック #185 使用の場合はシンナー無希釈が推奨です。硬化促進剤を 2%程度添加して下さい。
	木材の出隅はフォック #185 を使用しタッチアップで増し打ちして下さい。 10~20%シンナー希釈が推奨です。硬化促進剤を 2%程度添加して下さい。

※木材のコーティングで最初に悪くなる箇所は節目、切り口、出隅です。

全体コーティングの前にパテペラにて節目押え、出隅小口は刷毛にて増し打ちして下さい。

木材コーティングは前処理の精度により健全年数が決まります。

塗装工程	下塗り材	フォック LC#185 クリアー
工程 1	主剤/硬化剤比	70/30 (重量比)
	シンナー希釈率	0~20%
	塗布量	150g~200g/m ²
	塗装間隔	12時間以上7日以内 (標準は翌日) (20℃) 厚膜タイプの為、硬化時間は遅いです。余裕のある施工計画を立てて下さい。
	硬化促進剤	低温期など硬化促進剤を 1~2%添加する場合があります。 この場合、硬化時間は半減しますが、ポットライフも半減しますのでご注意ください。 添加量は 2%が限度です。メモリカップ等使用で計量添加して下さい。

塗装工程	下塗り材	フォック LC#185 クリアー
工程 2	主剤/硬化剤比	70/30 (重量比)
	シンナー希釈率	0~20%
	塗布量	150g~200g/m ²
	養生	24時間以上 (20℃) 厚膜タイプの為、硬化時間は遅いです。余裕のある施工計画を立てて下さい。
	硬化促進剤	上記同様

(施工要領及び施工上の注意)

- ①塗装方法は吹付け、刷毛、ローラーを使用出来ます。
 2液性塗料につき特に夏場はゆず肌を防ぐ為、2時間以内程度で塗布出来る量を混合し専用シンナーでの調整をお願いします。
 寒冷期、又は作業上、硬化速度を上げる場合、硬化促進剤（1～2%）を現場
 場合があります。この場合は1時間以内程度で塗布出来る量を混合して下さい。
- ②ローラー使用では無泡ローラー、スモールローラーの使用をお奨めします。
 フォックはハイビルド型低溶剤型塗料につき、泡切れは悪い傾向にあります。
 又、原液は水あめ状で、少ないシンナー希釈の場合、壁面ではダレる傾向にあります。
 規定希釈率の範囲内で設計膜厚(現場での膜厚必要性)、ダレ・吸い込みを考慮しシンナー調整して下さい。
 置換泡等の泡残りのある場合は速やかに空刷毛にて泡潰し作業をお願いします。
- ③上記仕様は強溶剤を含有します。換気・排気・火気に充分注意し、安全管理を遵守して下さい。
- ④防滑処理は①工程後、アルミナ骨材（微細）の撒き工法を推奨します。
- ⑤乾燥の遅い塗料につき、乾燥中の風等による落ち葉、ゴミ等の養生にご注意下さい。
 虫の発生時期は夕方に掛るタック残りにはご注意ください。

(塗料荷姿)

フォック LC#185（指定色）又はクリアー 4kg/セット・10kg/セット
 パイロキープ専用シンナーは上、下塗り塗料共通 4kg/缶・15kg/缶です。
 硬化促進剤（使用は任意、ご依頼のあった場合のみ添付）塗料重量比 1～2%添加

(硬化性)

フォック LC#185の硬化は、温度依存性が高く10℃を下回ると硬化があまり進まず、5℃を下回ると硬化はほとんど進まない。

15℃ 12時間程度 半硬化 タック残り
 20℃ 12時間程度 半硬化 若干タック残り
 30℃ 12時間程度 半硬化 ほとんどタック無し

床面の施工は要注意。

壁面では、ダレを生じない程度のインターバル（6時間程度以上）をおきタックの上からのウエットオンウエット塗装可能。

基本1デイ1コート（気温、湿度、風の有無考慮）